

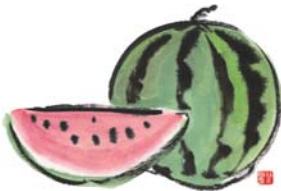
曹洞宗 天祐山 公田院 仁叟寺

# 山雲水月

発行責任者 仁叟寺 住職 渡辺啓司

さんどうかくちょうこうじしゅうりょうほうこく

## 参道拡張工事終了報告

いっしん じんそうじさんどう  
↓一新した仁叟寺参道

### 平成17年 仁叟寺年間行事予定

1/1	年頭祈祷
1/3～1/4	年始挨拶
2/3	大節分会
2/15	涅槃会
3/13	大般若会/大施食会法要
3月中旬	筆供養法要
3/18～3/24	春季彼岸会
4/8	花祭り
7/13～7/16	京浜地区盂蘭盆会
7月下旬	子ども禅の集い
8/13～8/16	盂蘭盆会
9/20～9/26	秋季彼岸会
12/8	成道会
12/31	除夜会
毎週土・日曜日	書道教室
毎週水曜日	定期坐禅会
隔週水曜日	華道教室・梅花講稽古

平成16年11月より  
平成17年3月末まで、  
町当局のご協力により、  
長い間の課題で  
もありました参道拡  
張工事が無事に完了  
いたしました。

仁叟寺及び該当  
地権者1名が土地を  
提供し、参道が拡幅  
されました。従来の参道は車同士のすれ違いも困難でしたが、大型  
バス・大型工事車両も境内駐車場まで直接進入できるようになりました。  
檀信徒の方々はもとより、年々増加していく参拝者や研修会、坐禅会などに寺に来られる方々にも大変  
便利になりました。



### 参拝者を迎える大龍柱→

だいりゅうちゅう

## 大龍柱完成

参道拡張工事完了を記念し、また先祖代々  
菩提供養の為に龍柱が平成17年3月に参道に  
建立されました。龍柱は中国福建省にて三  
ヶ月掛けて細密に彫刻された青御影石製で  
す。高さ5メートル40センチの堂々たる石柱  
で、境内に入る人々の目を引きつけます。

寄進者は高崎市寺本欣一、吉井町酒井信  
夫、横浜市清水萬平各氏の3名です。誠にあり  
がとうございました。



## ちゅうごくさんせいしょうごだいさんゆうこうかんけいじゅっしゅうねんきねんさんぱいりょこう 中国山西省五台山友好関係十周年記念参拝旅行

前回の寺報『山雲水月』13号でもご紹介しました通り、中国山西省五台山の参拝旅行が無事行われました。今年は中国山西省五台山の顯通寺

と仁叟寺の友好寺院関係締結十周年の記念する年であり、山西省佛教協会からの要請などもあり同交流研修旅行が企画されました。

参加者は総勢17名。それぞれが無事にそして中国第一の佛教聖地五台山にお参りをされてきました。詳細な報告は次号の『山雲水月』紙上にて紹介させていただきます。また、五台山

だけでなく次回の五輪開催地・北京で世界遺産

の故宮博物

院・天壇公園・

万里長城なども観光をしてきました。

参加された皆様方、お疲れ様でした。



↑五台山中心部風景

だいほんざんそうじじ だいゆうざんさいじょうじ

## 大本山總持寺・大雄山最乗寺参拝旅行参加者募集



だいほんざんそうじじだいそどう  
↑大本山總持寺大祖堂

来る10月29日（土）に大本山總持寺及び大雄山最乗寺参拝旅行を行う予定です。日帰りで両寺院を拝観し、昼食は大本山總持寺の本格的精進料理を召し上がっていただきます。

總持寺は福井の永平寺と並び曹洞宗の大本山であり、東堂、住職、副住職ともこの本山で修行をいたしました。現在、役寮（修行僧の指導役の和尚さん）に住職の義弟である向雲寺住職が詰めています。

また、大雄山最乗寺は天狗道了尊様の信仰で有名な宗門を代表する古刹であります。仁叟寺の本寺の本寺に当るお寺です。

この機会に是非、皆様方の参加をお待ち申しあげます。



## 梅花講全国奉詠大会報告

去る6月1~2日に山口県吉敷郡阿知須町「きらら元気ドーム」で、平成十七年度曹洞宗梅花講全国奉詠大会が盛大に開催されました。

今年で105歳になられる曹洞宗管長大本山永平寺貫首宮崎奕保禪師様より「正しい信仰に生き、仲よい生活をし、明るい世の中をつくる」というご誓願のお言葉を頂きました。

今回の梅花講全国大会に参加をした方々は当寺から7名。皆さん、「大変感激をした」というお話をされておりました。

## 仁叟寺探索-11-

今回の仁叟寺探索では、『仁叟寺多胡碑』とそれを覆うお堂『古照堂』を紹介いたします。

この仁叟寺多胡碑は現在、国宝化運動が行われている吉井町を代表する国指定特別史跡『多胡碑』と全く同じに造られております。拓本は専門家が見ても本物と区別がつかないほどと言われております。この仁叟寺多胡碑は、当寺檀家の塩の向井家が寄進。お堂の古照堂は昭和51年に吉井町の故森平文三氏の寄進により建立。また、お堂の扁額は書家の金澤子卿師筆、多胡石材産業(株)の寄進になります。

向井家の伝えによるとこの碑は多胡碑の裏碑

じしへんさんしつつうしん

## 寺誌編纂室通信-13-

ほかその

去る5月31日に早稲田大学教育学部外園研究室に於いて、外園教授及び早稲田大学メディアミックス社の方々と寺誌作成の打合せを行いました。併せて、寺誌原稿の第一稿を提出いたしました。

何とか一段落がついた状況であります。この後に、編集・校正・原稿の追加や削除・写真の撮影や資料の作成などといった作業がまだまだ残っております。何とか来年までの発刊を目指し、委員一同努力しております。

なお、檀信徒の皆様には寺誌賛助金をいただきましたが完成まで

## 第24回子ども禅の集い参加者募集中



Page 3 ↑昨年の様子（朝のお勤め）



→ 仁叟寺多胡碑 ← 古照堂



（予備）であり、それゆえ本家多胡碑と同材質、同刻で造られているということです。実際に羊太夫の墓碑ではないかという伝説もあります。多胡碑の歴史的な権威付にもなる仁叟寺多胡碑は、これからも本格的な専門家による継続的な研究と調査が必要であります。



← 仁叟寺誌 の風景  
編纂会議

はもうしばらくお待ち下さい。また、贊助金をまだ払われておられない方は趣旨にご理解を賜り、当寺までお送りください。宜しくお願ひ申し上げます。

ぜん つど

今年も毎年恒例の子ども禅の集いが7月25日～26日にかけて開催されます。今年で24回目の同坐禅会は、お寺の生活を体験することによって禅と自然に親しみ、子どもの自主と独立の精神を図ることを目的としております。対象は小学校3年生～6年生で、参加費は保険代・布団代・食事代など合わせて3,500円です。参加ご希望の方は、当寺までお問い合わせください。詳細な資料などをお送りいたします。

とくべつきこう

がどうしょどうかい

こばやししづか

## 【特別寄稿】

## 雅道書道会に学んで

小林 静

仁叟寺の書道教室『雅道塾』は、先代住職夫人の晃苑先生とご長女の清香先生が指導をされています。晃苑先生は長く高崎書道會に所属され、今は會の理事・審査員をされております。数年前には県展において第一席の委嘱大賞を受賞なさり、風格のあるその書風で、私たちの指導を今もお元気に熱心に続けていらっしゃいます。



これいかい

↑新年互礼会にて  
(前列右から二番目が筆者)

行事としては毎月のお稽古を始め、新年の互礼会、多胡碑記念館展、高崎シティギャラリー展、群馬県展、東京都美術館での国際公募連展などへ出品、参加しています。

おかげさま  
お蔭様で子育て後から晩年へのかけがえのない日々をお仲間と共に支え合い、励み合い、心満ちて過ごさせていただくことができ、改めて感謝している今日この頃でございます。

## 行雲流水（編集後記）

編集人 副住職 渡辺龍道

一日と暑くなつて参りました。夏もそろそろ本番、そう思わせる今日この頃であります。さて記事中にもありました大本山總持寺研修旅行、是非ご参加ください。東堂、住職、副住職と大本山總持寺で修行をさせていただいた仁叟寺とも縁の深いご本山です。永平寺に比べると知名度も正直高くはありませんが、今日の曹洞宗の発達の基礎を創った宗門の大本山です。本格的な精進料理を召し上がつていただくほか、天狗道了尊様で有名な古刹、大雄山最乗寺にも参拝する予定です。詳細は別紙をご参照ください。また、五台山の友好関係十周年記念参拝旅行にご参加いただいた皆様、お疲れ様でした。早いもので中国五台山との友好関係も十年が経過いたしました。現在の日中関係は様々な問題が多くありますが、こういった仏教を通じた草の根交流というのは大切かつ続けていきたいものです。



けいだい さ あじさい  
↑境内に咲く紫陽花